



学校法人 志賀学園
認定こども園
平第一幼稚園
令和5年6月30日

トマトの苗の背が高くなり、収穫の日も待ち遠しい季節となり、夏の気配が感じられるようになりました。プールや七夕など楽しいことがたくさん！いよいよ夏本番です。

今年度も、こども園では、6月14日（水）に、大國魂神社の神主さんにおいでいただき、さくら組の子どもたちと「プールで怪我をしないで楽しく遊べますように」と安全祈願をし、プール開きを行いました。水あそびは、心身ともに解放感を味わえます。暑い時には、水に触れることで、涼しく感じることに気づき、水が流れたり、跳ねたりする感触は、体の感覚を豊かにします。少しでも水に親しめるよう、ご家庭でも顔を洗う時やお風呂に入る時に楽しんでみて下さい。晴天の日は、できるだけ水あそびを行いたいと思います。

先日、いわき市水産課推進事業の企画として、FMいわきさんをお招きして「さわってみよう！はじめてのおさかな教室」に参加しました。今回のイベントの趣旨として、東日本大震災以降、福島県沖で獲れる魚介類の風評被害でいわき市の水産事業も大きな影響を受けました。しかし、いわき市で獲れる魚（常磐もの）の魅力や海の生態系への興味を乳幼児期の子どもたちに幅広く知ってもらいたいということもあり、近年いわき市ではこのようなイベントが多く開催されています。また、皆さんご存知の「アクアマリンふくしま」も海を通して人と地球の未来を考える」を基本理念として海洋環境活動にも力を注いでいます。皆さんの住んでいるいわき市は、「海」と密接な関係にあります。是非、お出掛けした際には、親子の会話の中で「いわきのお魚」について触れていただければと思います。

イベントの中で、さくら組の子どもたちは、スイミーの絵本の読み聞かせや常磐ものの〇×クイズ、お魚ダンスを踊ったり、興味津々に生きているタコ、ウニ、ヒラメ、伊勢エビなどを触っていました。「パパと魚釣りをした時に釣ったことあるよ♪」と嬉しそうに話す園児の姿もありました。

すみれ組の子どもたちは、制作あそびで作った魚で魚釣りごっこを楽しんでいたのも本物の魚を見て、触って大喜びでした。

ばら組の子どもたちも、画用紙で作った魚で魚釣りを楽しんでいたのも、本物の魚を見ることが出来て喜んでいました。また、片栗粉に水を入れて、「スライム」を作り、不思議な感覚に「気持ちいい！」「おもしろい！」と感触あそびを楽しんでいました。

7月7日は「七夕」です。七夕は、織姫と彦星が一年に一度だけ天の川で会える日とされています。園でも、笹飾りをしたり、紙芝居やブラックシアターで七夕のお話しをしますが、七夕を前に、ご家庭でも、親御さんからお子様に、織姫と彦星のお話しをしたりして、楽しんではいかがでしょうか。日本の良き伝統を伝えていきましょう。

1号認定のお子様は21日から夏休みに入ります。2・3号のお子様は、毎日登園されるお子様もおりますが、お仕事の都合に合わせて、早いお迎えやお休みされても結構です。どちらにしましても時間の許す限り、お子様とのふれあいの時間を大切にお過ごしください。

吉竹芳江